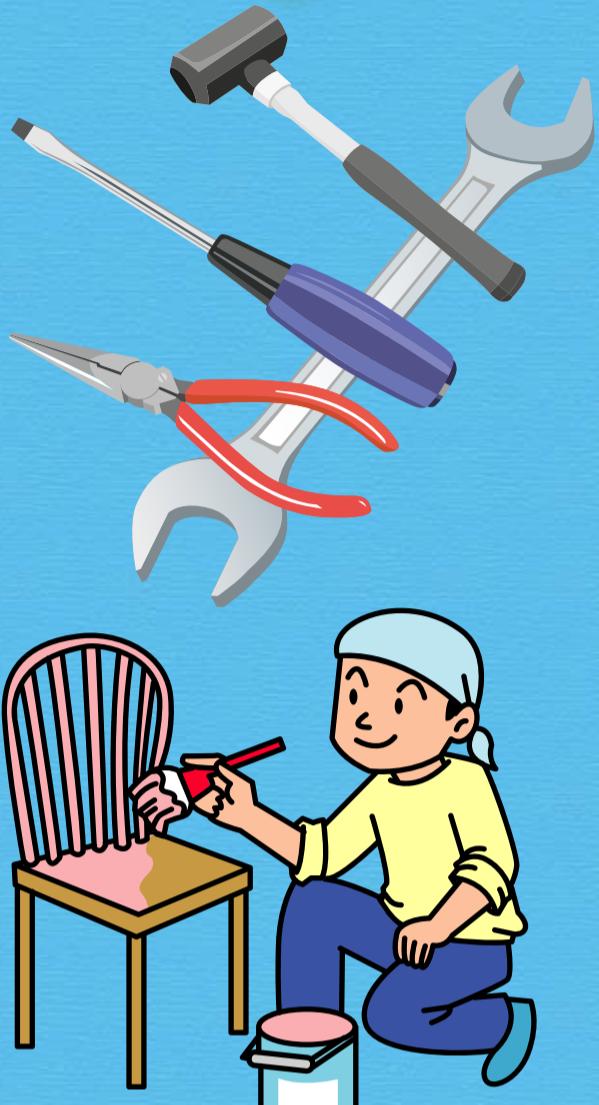


# DIY



## 接着剤の選び方と使い方

DIYや工作中に欠かせない接着剤ですが、いざ使うとなると種類が多くて何を選べばよいか迷うこともあります。適した接着剤を選んだつもりでも、うまく接着しなかったという経験をお持ちの方もいらっしゃるでしょう。どんな接着剤も、それに合った用途や、適した使い方、分量があります。それを知つておけば、接着剤をより効果的に使いこなすことができ、住まいの修理や趣味の手作りの幅が広がるはずです。

### 合成ゴム系接着剤

**用途** 硬化したあと柔軟性があり、曲げることも可能なので、皮革、ゴム、布どうしの接着や、これらと他の材質との接着に最適。また、木材、金属、硬質プラスチックなどの接着にも使える。接着面があまり小さなものには不向きだが、テーブルの天板などにデコラや化粧合板などを貼るときなど、広い面を貼る際は、塗り伸ばしができる合成ゴム系を使うと、きれいに貼れる。

**特徴** 黄色のタイプと透明タイプがある。はみ出しが気になる箇所を使う場合は、透明タイプを選ぶといい。



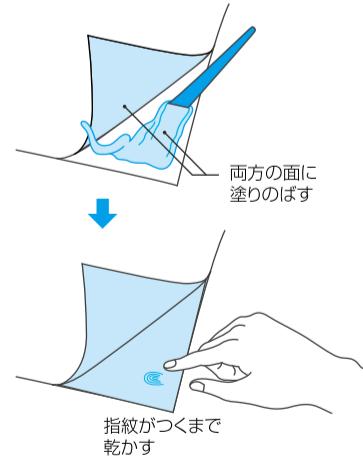
**使い方** 接着する両方の面に、へらなどで薄く均一に塗りのばし、塗った状態のまま、手で触って指紋がつくくらいまで乾かしてから貼り合わせる。このとき、一度貼り合わせると貼り直しができない。

### コンクリート用接着剤

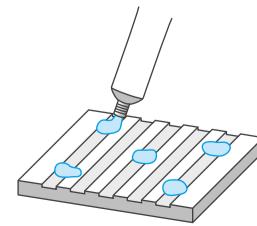
**用途** コンクリート、ブロック、レンガ、タイル、スレート、石材、金属、陶磁器、木、発泡スチロールなどの接着に使える。ただし、どの場合も接着面がある程度広いものを貼る場合に向いている。

**特徴** 高粘度の接着剤で、垂直面に付けてもたれず、多少凹凸があって貼ることができる。ただ、耐水性はあまりないので注意を。

ので、ずれないように慎重に貼ること。貼ったあとは、強く押さえたり、接着するものによっては金具で叩くと接着力が増す。接着剤がはみ出したときは、半乾きの状態のときに、ピンセットでつまんで取るか、ラッカーラムネ液で拭き取るようにする。



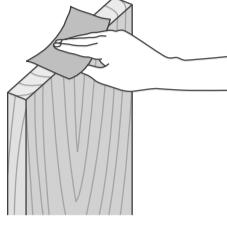
**使い方** 接着する面の片方に点状や線状になるように接着剤のチューブを絞り出し、これを塗りのばさずにそのまま押しつけて接着する。



## 接着剤を使う場合の注意点

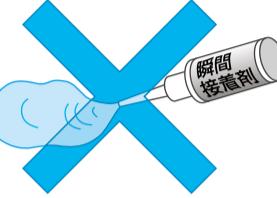
### 接着面をきれいにする

どんなタイプの接着剤も、つけようとする面が汚れているとまくの接着しません。水気、油分、サビ、ホコリや汚れなどは、きれいに拭き取ってから接着剤を塗りましょう。



### 接着面の凹凸をなくす

木材を接着させる場合など、接着面に凹凸があると接着力が弱くなってしまいます。そんな場合は軽くサンダーベーパーをかけてから接着剤を使うようにしましょう。



### 接着剤の量

接着剤の量が多ければ接着力が強まると思っている方も多いかもしれません、それは違います。特に、瞬間接着剤系は多すぎるとなかなか接着しないので注意してください。

### 硬化時間を守る

接着剤にはそれぞれ硬化時間がおり、それはパッケージなどに表記されています。硬化している途中で接着の様子をみるためにはがしたりすると、接着面がピッタリ合わなくなったり、接着力が極端に弱くなったりしてしまいます。

### 専用の接着剤でないと接着できないものもある

ポリバケツやポリ缶に使われているポリエチレンと、洗面器などに使われているポリプロピレンは、一般的な接着剤では接着できません（最近は、接着可能な接着剤も一部発売されています）。水に浮くプラスチックはこのふたつのどちらかと考えられます。また、接着が可能なプラスチックでも、割れるなどして接着面がわざわざしかない場合も接着できないと考えたほうがよいでしょう。発泡スチロール、アクリル、ABS樹脂も、それぞれ専用の接着剤を用いたほうがきれいに貼れます

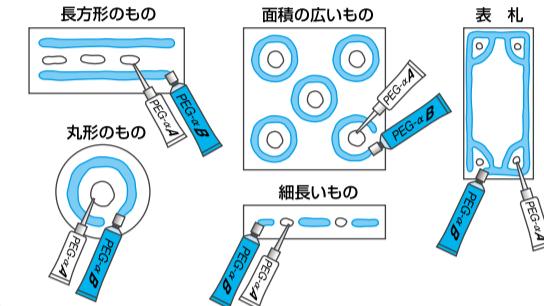
## 接着剤の選び方と使い方

### One Point Advice

#### 1本あればたいへん便利。万能接着剤「ペグα」

ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス、ビニール以外のものならほとんどのものを接着できるのが「ペグα」。硬いものからやわらかいもの、小さい面から広い面まで、凹凸があったり、ザラザラしている面でも接着することができます。そのうえ、耐候性、耐水性にも優れているため、屋外や水まわりに使ってもOK。さまざまな用途に用いることができます。接着面の片面にB液（変成シリコン）を多めにつけ、その間にA液（ゼリー状瞬間接着剤）とつけて、接着面を押し付けたときにそれが押し広がってA液とB液が接触するように塗るのがコツ。硬化促進剤の働きで数秒で接着するとともに、B液が数時間かかって硬化するため、弾力性と耐久性のある接着が可能となります。

#### 万能接着剤“ペグα”的け方の例



## 主な接着剤の種類とその使い方

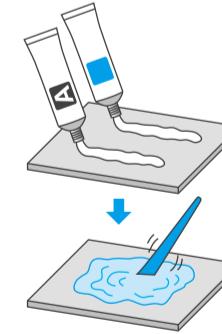
### ゼリー状瞬間接着剤

**用途** 金属、硬質プラスチック、陶磁器などのほか、瞬間接着剤ではつかない吸い込みのある木材、ゴム、皮革、厚紙など、ほとんどのものに使える。大きな面の接着には不向きだが、陶磁器のカケやアクセサリーの補修、家具の表面の板が少しはがれた場合など、暮らしの中であるちょっとしたコワレの補修には、たいへん重宝。ただし、発泡スチロール、ビニール、ガラスには使えない。また水のかかる場所や熱のかかる場所、力のかかる場所には不向き。



**特徴** 瞬間接着剤の硬化時間は5秒～1分だが、ゼリー状瞬間接着剤は20秒～5分くらいと接着するまで余裕があるため、接着面がずれてしまても貼り合わせたあと位置修正が可能。また、ゼリー状瞬間接着剤の容器はキャップつきなので使いやすく保存性も優れている。ただし、湿気の少ない場所で保管し、1年を目安に使いきること。

**使い方** 接着するものの片面に少量の接着剤を点状につけて圧着してから、しばらく押さえて密着させる。接着剤をつけ過ぎるとにつきにくくなるので注意。



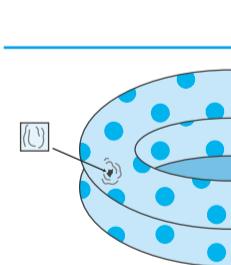
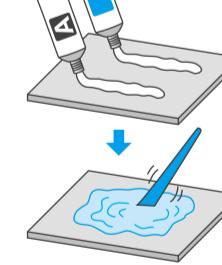
### エボキシ系接着剤

**用途** 金属やタイル、陶磁器、石材、コンクリート、ガラス、硬質プラスチック、木など、硬いものおしの接着に最適。硬化後、硬い樹脂になるので、布やゴム、皮革などといったやわらかなものの接着には不向き。

接着剤はすき間や凹凸があると厚く塗ってもつかないが、エボキシ系だけは硬化しても体積が変わらないため、すき間や凹凸があっても、それを埋めながら接着することができる。また、強度が強く、耐水性もあり、耐熱性も80°Cまで大丈夫なのも特徴。硬化時間によって5分型、30分型、60分型、10時間型など数種類あり、小さな面をつける場合は5分型、複雑に割れた陶器などをつける場合は30分型、

広い面の接着やより耐久性を必要とする場合は60分型あるいは10時間型を使うというようを使いわれる。また、垂直面などに塗っても垂れない高粘度型、ガラスに塗っても目立たない透明型もある。

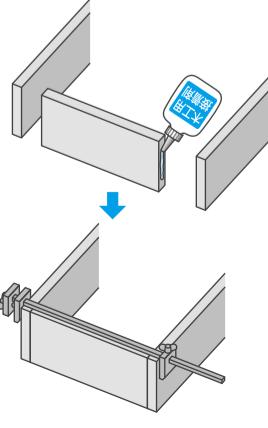
**使い方** 厚紙やプラスチック板などの上に主剤と硬化剤を同量ずつ出し、ヘラでよくかき混ぜた後、接着面（片面でよい）について貼り合わせる。



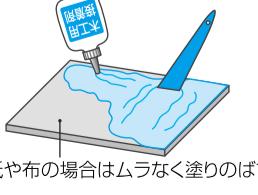
### 木工用接着剤

**用途** 木材や竹はもちろん、布、紙、コルクなど、繊維質のものどうしの接着に使える。

**使い方** 接着する片面に塗ってすぐに圧着させ、硬化するまでは、クランプやハタガネ、



クギなどで固定しておく。接着剤がはみ出したら、すぐに固く絞った布で拭き取るよう。特に木工作業で塗装する場合、接着剤がはみだしていると塗装の際にムラになるので注意。また、紙や布を貼る場合は、ヘラなどで端までムラなく平らに伸ばしてから貼りつけるようにする。



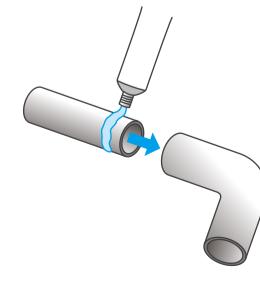
### ビニール用接着剤

**用途** ビニールどうし、またはビニールをほかのものに接着する時に使うビニール専用の接着剤。

**特徴** 硬化した後も、柔軟性があり、耐水性もある。ただ

し、浮き袋やビニールポートなどには、もしもの場合危険なので使わないように注意を。

**使い方** 合成ゴム系接着剤と同様に、接着する面の両方に薄く塗り、触ると指紋がつく程度まで乾かしてから圧着す



### 雨どい用接着剤

**用途** 雨どい、上下水道用の塩ビパイプなど、硬質塩ビどうしの接着に用いる。

**特徴** 透明で、硬化後、柔軟性、耐水性を有する。

**使い方** 接着面の片方に塗って、すぐに貼り合わせる。